

三期目の公約を問う 夢と希望を持てるまちづくりとは

町民の福祉と健康を基本に



岩田 秀一 議員

三期目の出馬にあたり、「みんなでつくる大崎町、夢と希望を持てるまちづくりを目指す」と掲げているが、どの様なまちづくりを考えているのか。

す。

まちづくり委員会とは

岩田議員

「まちづくり委員会」を設置すると言っているが、どの様な構想を持っているのか。

町民と協働した組織

町長

まちづくり委員会は、自分でできることは自分で、個人で解決できないことは地域で、地域で困難なことは公共（役場）の力で解決していく、自助・共助・公助を基本とし、町民の声が施策に反映出来る協働のまちづくりを目指す自主組織である。

具体的には

岩田議員

具体的な考えと、設置時期はいつか。

本年度中には設置

町長

どのような形の委員会が良いのか、まだ議論できてないが、若い人の参加を望んでいる校区ごとの課題を基に、地域おこし等も考えている。本年度中には設置する。

合併協議継続とは

岩田議員

合併に関する協議は継続すると掲げているが、どう進めていく考えか。

情報交換をしながら

町長

国においては鹿屋市を中心とし、本町・志布志・大隅地域の自治体で構成する定住自立圏構想を進めており、

今、地方自治体を取り巻く環境はめまぐるしく変化の真っ只中にある。合併特例法の期限内には出来なかつたが、将来的には必要と考えているので、昨年10月私と議会議長の連名で志布志市へ合併協議の申し入れをしている。その経緯等を踏まえ、今後必要な情報等の交換はしていく。

真意がわかりにくい

岩田議員

住民には、合併協議は継続していくという「真意」がわかりにくいと思う。町長の考えはお互いの情報交換をしながら合併の機運

が高まったとき、協議が具体的に進むということに理解しているのか。

機運の高まりとともに

町長

大変消極的な形となつてはいるが、協議の申し入れはしているので、今後もお互い情報を意見交換をするということ、双方の市長、町長の間で取り決めをしているので、その方向で進めていく。

まちづくり推進室の充実を図れないか

岩田議員

まちづくり推進室は、町長の政策を反映する重要な部所と思うが、現体制では機能が發揮されてないと思うが、どのような考えを持っているのか。

十分な体制を

町長

まちづくり推進室は、行政の中でも柱となるところであり、企画の部分も不足しているので、十分な体制をとるようにする。

○その他の質問

更なるソフト事業（近隣保健福祉ネットワーク事業等）の充実をもう一度見直し、検証し、充実を図れ。



21年度でオープンした観光案内所